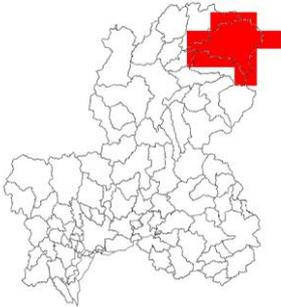


オオアゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i> Steud. var. <i>appendiculata</i> (Trautv. et C.A.Mey.) Ohwi	絶滅危惧I類
		カヤツリグサ科
選定理由	生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。	写真(小宮健樹)
形態の特徴	著しく叢生し、谷地坊主をつくる。基部の鞘は褐色～暗褐色。アゼスゲよりも植物体は大型。上部の1-2個が雄小穂(アゼスゲは頂部のみ雄小穂)で、雌小穂には短柄があり、いずれも直立し、アゼスゲより長い。雌鱗片は黒紫色～褐色で中脈は緑色、鈍頭～鋭頭。果胞は乳頭状突起があり、鱗片と同長かより長く、無毛、有脈、嘴は短く口部は凹形。花期は5-7月。	
生態的特徴	山地の湿地に生育する多年草。	
分布状況	北海道・本州(中部以北)九州(大分県九重山)に分布し、岐阜県では県北に分布する。	
減少要因	開発による湿地の消失、植生遷移による湿地の樹林化。	
保全対策	開発行為からの湿地の保全、および植生遷移の抑制。	
特記事項		
参考文献	勝山輝男. 2005. 「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本真理子. 2011. 「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.	

文責: 清水英彦